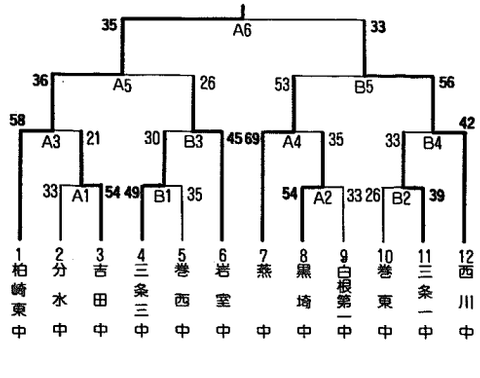
先月22日、村民体育館で「第8回岩室村近郷少年バスケットボール大会」が行われ、精鋭12チームが参加して、熱戦をくりひろげました。決勝戦では柏崎東中学校が西川中学校を1ゴール差で敗り、見事二連覇をしました。なお、地元岩室中学校は優勝チーム柏崎東中と準決勝で対戦。36対26で惜敗、三位にとどまりました。結果は次のとおりです。優勝…柏崎東中学校、準優勝…西川中学校、三位…燕中学校・岩室中学校。

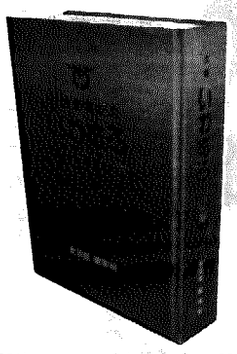
近郷少年バスケットボール大会

柏崎東中が二連覇！



▲準決勝での柏崎東中学校と地元岩室中学校の熱戦の模様

村の歴史が一冊に



新庁舎完成を記念して、広報「いわむろ」の縮刷版が発刊されました。この縮刷版に収録されたのは、三十七年五月の創刊号から昨年の十二月一日発行の第二六〇号までの分。二十一年間の歴史が一冊にまとめられています。

新庁舎完成記念
広報縮刷版発刊

消防の使命を再確認
出初め式で巡回

先月六日、消防恒例の「出初め式」が行われました。管理者（村長）が各分団を巡回して、〝消防の使命と責務の重要性〟を再認識してもらいました。昨年末の和納の大火の例もあります。火の元には十分な注意を――。

戦友を探しています
旧満州歩兵八七連隊の森山忠也さん

◀19年2月29日、釜山（韓国）で橋爪さんに渡された写真

群馬県の橋爪武雄さんが、昭和16年2月に旧満州国間島省琿春県春化の旧陸軍満州部隊第八五三隊（歩兵第八七連隊）に入隊した時の班長（階級伍長）で、17年10月ごろ陸軍航空隊（チチハル）に転属された本村出身の森山忠也さん（大正7年生まれ？）を探しています。お心当たりの方は、次へご連絡ください。

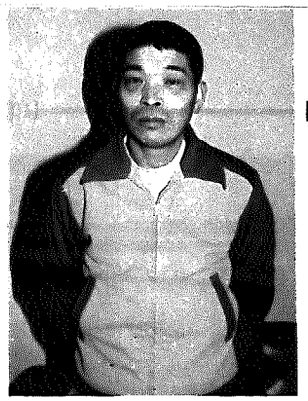
〒375 群馬県藤岡市小林749の6 橋爪武雄 （☎0274㉓3105）へ。

▲村民の一致協力を――先月5日、石瀬の老人憩の家「静閑荘」で恒例の新年祝賀会が開かれ、議会議員、各区長、各団体機関の代表約120人が集まって昭和59年の新年を祝いました。
年頭のあいさつで金子村長は、国同様に財政的に地方自治体も厳しい年だとし、「今年はとくに有効適切な財政運営を図り、村民の一致協力の下で施策を進めていきたい」と新年度の考え方を示しました。

◀ビデオに熱い視線――先の村議選に先がけ、もう一つの選挙が……。ここ岩室中学校生徒会では新年度の生徒会役員の選挙で立候補者は、テレビ政見放送ならぬ、放送室のビデオ・システムで立候補の弁を述べ、全生徒に訴えました。各教室にあるテレビには熱い視線が注がれていました。

岩室村の歴史を次代に

自作の村史略年表を寄贈した斉藤嘉吉さん（和納三区）



「昨年二回開かれた公民館の婦人講座〝村の歴史〟の講師になったのをきっかけに―」と、和納三区の斉藤嘉吉さん（四十五歳）が、このほど五十四ページに及ぶ、自作の『岩室村史略年表』三十冊を公民館に寄付しました。思わぬプレゼントに公民館側も大喜び。

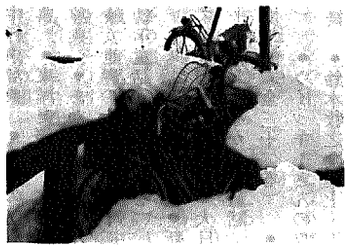
贈られた『岩室村史略年表』はB5判サイズのコピー製本で、岩室村の古代から昭和五十八年までのおもな出来事が登載されており、〝村の歴史〟の流れが一目でわかる。

「以前から収集していた資料に、本とか新聞などであった記事を箇条書きに加徐していたものをまとめあげたもので、発刊で苦労したことと言えば、製本くらいなものですか（原本は新聞の活字を手間をかけ切り貼りして仕上げてある）」とてれくさそうに発刊までの経過を語る。

斉藤さんと歴史学のつき合いは古く、二十年にもなるという。「以前は部落の古老を訪ねて民俗学を中心に資料の収集もしましたよ」と資料の整理に夢中になり、明け方近くになることもしばしばだったとか――。

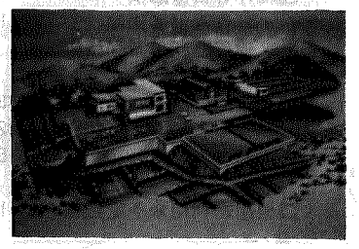
長い間にいくつかの発見もあった。「和納の文献では和納の花火が初めて行われたのが明治十一年ということになっていたのが、巻町の郷土資料館の文献で、天保十三年（西歴一八四二年）にはすでに行われていたことを見つけた時は、そりゃあ、うれしかった」と新事実を発見した時が一番充実感があると言う。「今後は、各分野の資料を網羅した総合的な村の歴史を作り、次代に残さなければ―」とひとこと。斉藤さんは現在、村の文化財委員長でもある。

所有者は……？
岩室駅前の放置自転車



雪に埋もれているこの自転車の山――実は岩室駅前の自転車置場（吉田側）に放置？されているものです。防犯上などから村、警察、岩室駅で所有者を確認していますが、今月十五日までに徹去されないものは処分します。お心当たりの方は早目に回収してください。

1万村民の生活を支える〝水の拠点〟
給水能力は1.6倍に



先月号で起工式の模様をお知らせした「新浄水場」の完成予想図です。新しい〝水〟の拠点は今年末に夏井山に完成し、六十年送水開始の予定です。